

2025年度 おきなわふるさと振興基金事業報告書

事業者名:Mimoc 宮城 葉月
提出日:令和8年7月2日

1. 事業テーマ

芸術作品を通して感性や対話を育むとともに、若手アーティストの作品発表の場を設け、アーティスト同士の交流を促進する。

2. 事業の概要

(1)事業の目的

若手作家同士の情報交換などのコミュニティの場としての役割を目指す。また、幅広い作品鑑賞の場を提供し、今後のやんばる地域の芸術文化の振興に寄与することを目的とした。

(2)事業内容の概要

タイトル: ヤンバライズ展Vol.3 2025

開催場所: 東村文化・スポーツ記念館

開催日時: 2025年11月1日(土)～12月21日(日)※祝日・水曜日は休館

10:00～18:00(最終入場17時30分)

入場料: 無料

出展募集期間: 2025年4月1日(火)～9月30日(火)

3. 実施内容

(1)実施スケジュール(計画と実績)

①オープニングセレモニー: 2025年10月31日(金)

②展示期間: 2025年11月1日(土)～12月21日(日)

③作家集結日:

2025年11月8日(土)・11月22日(土)・12月6日(土)・12月21日(日)

④体験ワークショップ: 2025年11月8日(土)・12月6日(土)

(2)具体的な実施内容

①オープニングセレモニー

「ヤンバライズ展2025」開催に伴い東村副村長をはじめ、東村教育委員会教育長、出展者、会場スタッフをお招きしたオープニングセレモニーを実施。村内の「Sun Caffe」にてオードブルの注文を行い、当日は約30名の参加者があった。

②展示

公募により20名の出展者が参加し、ゲストアーティストとしてお招きした日本画家 池宮城友子氏の計21名による作品を展示した作品展となった。展示作品数約80点であり、ジャンルを問わず幅広い作品を展示した。

③作家集結

出展者が在廊する日を設け、来場客・出展者同士の交流、情報交換の場所として設定した交流イベントとして実施した。地域の「菓子屋Ossa」におやつを依頼し、茶菓子を囲みながら交流できる場づくりを行った。

④体験ワークショップ

沖縄北部を中心とした講師を募集し、子供から大人まで楽しめる体験内容でより一層芸術に親しむ機会を創出した。2日間の実施で約150名が参加した。

4. 事業成果

(1)数値成果

- ・出展者数: 昨年(2024年)17名 → 今年(2025年)21名
- ・来場者数: 昨年(2024年)1176名 → 今年(2025年)2006名(約70.6%増)
- ・ワークショップ: 6種のワークショップ体験(2日間)/イベント期間の来場者数100名以上

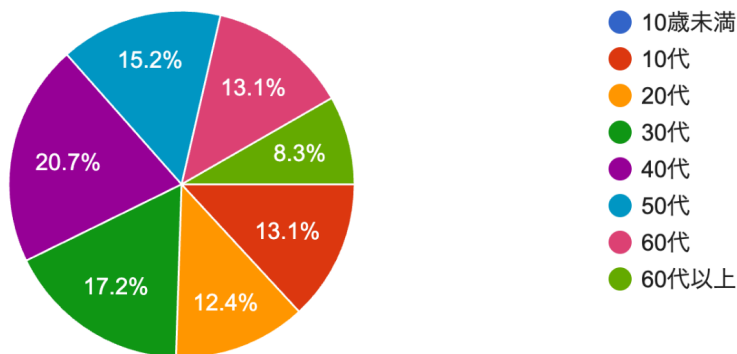
(2)成果物

- ・図録(終了後の発行)

【アンケート結果(抜粋)】

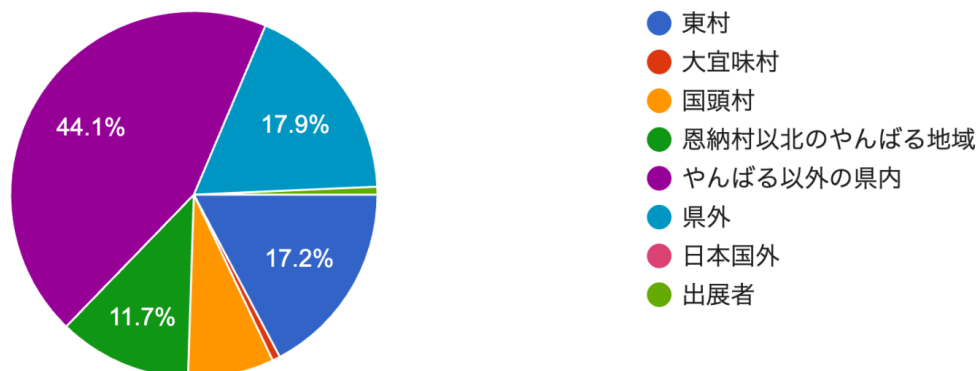
2、ご年齢

145 件の回答



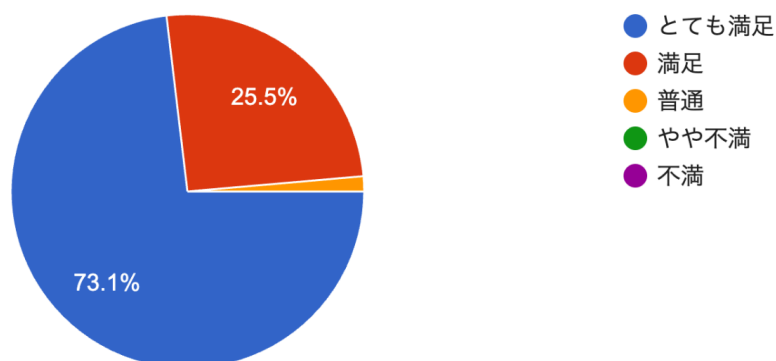
1、どこからお越しになりましたか？

145 件の回答



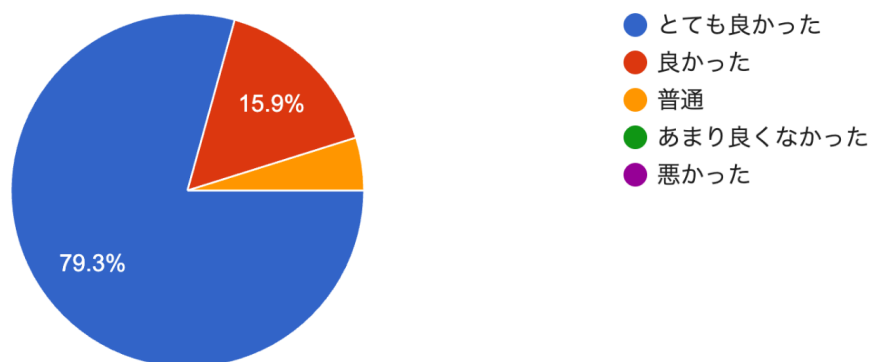
5、展示内容は以下いかがでしたか？

145 件の回答



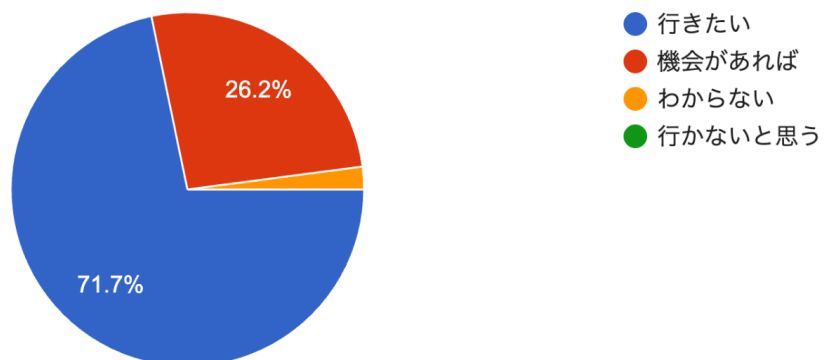
7、会場案内・スタッフの対応はいかがでしたか？

145 件の回答



8、今後もヤンバライズ展が開催されたら行きたいと思いますか？

145 件の回答



来場者・出展者の声

■「素敵な作品の数々に感動しました。沖縄県内で活動されている作家さん達にYELLを贈りたいです。もっとたくさんの方に見に来ていただけると嬉しいです。ありがとうございました。」

■「絵画や張子など、普段見られない作品を興味深く見させていただきました。絵画についても作家さんから詳しく説明が聞けて良かったです。作家さんの話を直接聞けるのが、とても魅力的だと思いました。また次回の開催を楽しみにしています。」

■「とても満足しました。ありがとうございました。作家さんの作品巡りができるようなMAPがあれば最高ですね。」

■「ライティングを工夫して欲しい」

■「ライブペイントされている方がいて雰囲気が良かったです」

■「ファインアートから、イラストや、工芸品までジャンルが様々で面白かったです。文様の要素がいくつかあり、興味深かった。」

(2) 補助事業による効果

・広告宣伝費

ポスター等を制作・配布したことで地域内外への周知が進み、来場者数の増加につながった。

・販売促進費

展示設備や装飾、ノベルティの制作により、展示空間の魅力向上と来場者満足度の向上につながった。

・謝礼

出展者・講師への謝礼により、多様な作品展示や体験プログラムを実施できた。

・その他

オープニングセレモニーや交流イベントを実施することで、作家同士や来場者との交流機会を創出できた。

5. 事業の総括

本年は 20 名の出展者に加え、ゲスト出展として池宮城友子氏を迎え、約 1 か月半にわたり開催しました。来場者数は 2,006 名にのぼり、県外からの来場も見られました。期間中にはアートに関するワークショップを 2 日実施し、ファミリー層の来場も多く見られました。また、会期初日にはオープニングセレモニーを開催し、出展者と関係者が集い、作品を前にした対話や交流が自然と生まれ、本展の目的である交流の場づくりを象徴する機会となった。

会期中の会場では作品鑑賞にとどまらず、作家と来場者が直接言葉を交わす場面も多く見られました。こうした交流は作品への理解を深めると同時に、新たな関係性や創作のきっかけを生み出した。本展は単なる作品発表の場にとどまらず、地域における文化的な循環を育む試みとなった。

また、記録として地域の専門のカメラマンが撮影した写真を用いた図録は関係者へ配布し、事業成果の記録・共有を図ることができた。

今後は、より多くの方にやんばる東村へ足を運んでもらえる企画などの環境づくりを行うとともに、地域住民の交流の場を増やすことで地域活性化に寄与する活動を行っていきたいと考えております。

6. 添付資料

・事業報告書

・報告冊子(図録)



https://drive.google.com/drive/folders/1L9Y-k4FBI5z_9SuB22QPgnTQNFD6Gf4q?usp=sharing

Instagram: @yanbarise_ten